憩いの場にもなっています。

この公園は地域住民

町内会への理解





自由ケ丘一区町内会の三味線コーラス同好会の皆さん

🔾)"令和元年6月末からの大雨" 私たちはこう動いた

町内会の重要な役割である「防災活動」。記録的な大雨が 差し迫っていたとき、地域の避難所への自主的な避難を呼

び掛けるチラシを地図入りで作成し、要配慮者世帯を中心

から地域の居住図や危険箇所を把握しているからこ

そできた防災活動。ただ避難を 呼び掛けるだけでなく「ここに 避難できますよ」と、具体的に伝

居住区の地図や避難を呼びかける

えるように心掛けました。

みんなが地域を支える ~町内会でつながろう~

町内会は、同じ地域に住む人たちが、お互いに協力し合って自 主的に組織している団体で、私たちの最も身近な住民自治組織 です。

町内会加入率の低下が課題となる中、それぞれの町内会では、 より良い地域にするためのさまざまな活動が行われています。 「できることを、できる人が、できるときにやる」をモットーに 活動する、自由ケ丘一区町内会の原田会長に話を聞きました。



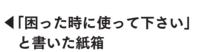


自由ケ丘一区町内会 会長 原田 俊之さん

▶町内会の会員3人が 交代で毎日清掃

使う人の気持ちに寄り添い、 心地よい空間を維持している。





中身は新品のトランクスや 生理用品。もしものときに誰 でも使うことができる。

であることで使う人のマナーも良くなり、 も常備しています。 た。今では遠方からわざわざ公園の 2010年に町内会長になった頃、 利用者の目線で、 い、と思えるトイ

を訪れる人もいるくらいです 上、雨の日も、風の日も清掃は続いています。 掛けて代わってくれました。これまで8年以 仕事に集中して」と、町内会員の一人が声を にある公園のトイレの清掃を一人で始めま な公衆トイレがないことに気付き、自由ケ丘 地域が変われば人も変わる」と実感しまし た。それを毎日続けていたある日、「会長の もしものときの非常品 いつもきれいなトイレ

、きれ

「寄り合える場」でありた

う声をもらえることが素直にうれしく、誇り 内会員が寄り合える場でありたい できないことはないと思います。 います。 の役員は、 「自由ケ丘に住んでいて良かった」 私たちの活動が地域のためにな みんなが楽しみながら活動 みんなで地域を支えて、

清掃という美化活動をきっかけに

たりと、役員以外の います。最近は公民館の改修を会員が自主的 感じていたことは思い切って廃止しました。 に手伝ってくれたり、活動費を寄付してくれ 充実を図り、 加入してよかった」と思えるように活動の 現在の加入率は99%になって 「応援団」も増えていま

60%程度。未加入の全ての世帯を訪問し、粘 強く説得しながら話を聞いていきました。 回覧板や役員の輪番制など、会員が負担と 私が会長になったときの町内会加入率は

8月30日

※各年度につき上限100万円

町内会に加入して 地域の絆を深めよう

に声を掛け、配布していきました。

住んでいる地域の町内会が分か へお問い合わせください。



町内会の取り組みの 実例や、戸別訪問の質 疑応答集を紹介した 「加入促進ハンドブッ ク」もご活用ください。

地域振興課

FAX 216 · 1 2 O 7

町内会加入につなげよう~ たな発想で 4加入促進モデル事業

た団体に対 て、必要経費を助成します。 入促進につながる事業を提案し、選ばれ

町内会加入世帯が増加し、他の町内会の 町内会・地域コミュニティ協議会・事業 所等の団体(町内会の合意が必要)など

今年度~来年度にかけて200万円を上限 補助(人件費・消耗品費・印刷費など) 事業の準備や実施に必要な経費の全額を 参考となることが期待できるモデル事業